

## 平成23年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[不正競争防止法及び私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律]

Y社は、化粧石けん $\alpha$ を製造販売している。X社の製造販売している化粧石けん $\beta$ が、Y社の有する特許権kを侵害しているとして、X社に対して、警告書を送付するとともに、X社から化粧石けん $\beta$ を購入している顧客に対し、「Y社の特許権を侵害しているX社と取引するのは貴社のためにならない」旨を記載した書面を送付した。

X社の化粧石けん $\beta$ がY社の特許権kの侵害とならない場合に、

- (1) X社は、Y社に対して、Y社の行為の差止請求をすることができるか。
- (2) X社の化粧石けん $\beta$ は、Y社の特許権kを侵害したと信じたことについて、Y社に相当の理由がある場合、差止請求の成否に違いは生じるか。

【100点】